

令和8年度 巡回きこえとことばの学習会を 行いました



7月24日（金）羽島市、7月28日（火）瑞穂市、7月31日（金）本巣市にて巡回きこえとことばの学習会を行いました。聴覚障がい児に関わる方だけではなく、特別支援教育全般に関わる方や地域の方などたくさんの方に参加していただきました。

講演は、愛知教育大学特別支援教育講座の岩田吉生先生を講師としてお招きし、「子どものきこえやことばの支援と授業での学び」という演題のもと、聴覚障がいに関する理解や認知特性、通常学級での特別支援教育などについて、体験も交えながら、幅広く大変分かりやすくご講話いただきました。参加者の方からは「難聴についてだけでなく、発達に特性のある児童の聞こえについて、とても勉強になりました。」「耳栓をして会話をする体験では、話す相手を見て聞くことだけに集中してしまい、内容が頭に入りにくいように感じました。」「『聞こえているのだけれど、見えているのだけれど、聞いていない。理解できていない。』という言葉が印象に残りました。」などたくさんの感想をいただきました。

今年は、3つの市のご協力を経て多くの方に聴覚障がいの理解を深めていただく学習会となりました。

これからもより多くの方に参加していただけるような学習会にしていきたいと思います。



羽島市



瑞穂市



本巣市